

広告特集

企画・制作 朝日エージェンシー西部

第35回日本末梢神経学会学術集会 開催記念特集

https://www.congre.co.jp/jpns2024

第35回 日本末梢神経学会学術集会 鹿児島

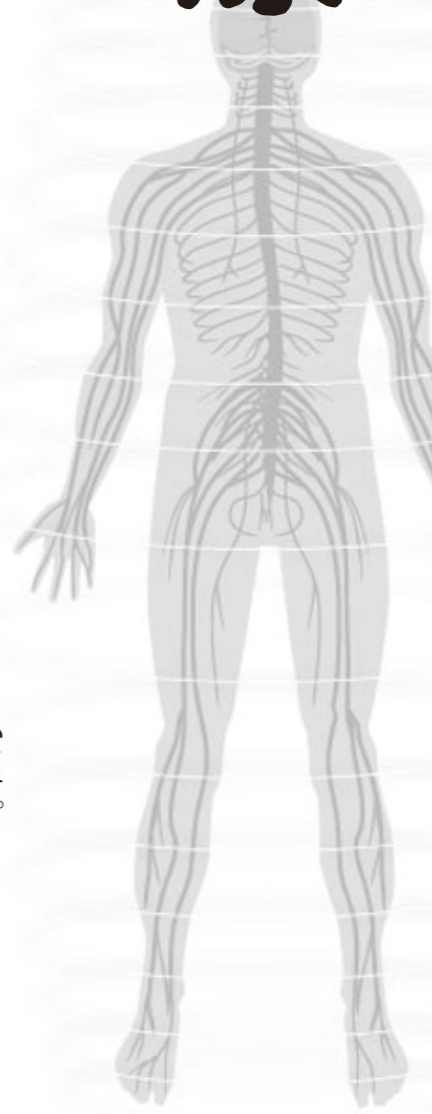


会期 2024年9/6(金)・7(土)

会場 鹿児島県医師会館 鹿児島市中央町8-1 会長 高嶋 博 鹿児島大学 脳神経内科・老年病学講座 教授

学会事務局:鹿児島大学脳神経内科・老年病学講座 〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1 TEL:099-275-5332
学会運営事務局:株式会社コンアール九州支社 〒810-0001 福岡市中央区天神1-9-11F TEL:092-718-3531 FAX:092-716-7143 E-mail:jpns2024@congre.co.jp

末梢神経疾患の原因と 進歩する治療



中枢神経と末梢組織の間で 両者を結ぶ「末梢神経」

人体の神経系は、脳と脊髄などの中枢神経と、中枢神経から枝のように体全体に伸びている末梢神経で構成されている。この末梢神経に起こる疾患の総称が末梢神経疾患(ニューロパチー)で、その原因や病態はさまざまである。そこで、9月6日・7日の2日間、鹿児島で開催される「第35回日本末梢神経学会学術集会」の会長を務められる鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 神経学講座 脳神経内科 老年病学教授の高嶋博氏に、末梢神経疾患の原因や治療などについてお聞きした。

人間は、例えば手足を動かすとき、脳から命令が出て、その命令が背骨の中を通り、末梢神経を通じて手足へ命令が送られます。命令は、電気信号として末梢神経により伝えられます。背骨から外に出ている神経はすべて末梢神経で、運動神経、感覚神経、自律神経に大別されます。運動神経は脳から出された命令を伝えて全身の筋肉を動かす役割を、感覚神経は皮膚に張り巡らされていて感覚を脳に伝える役割を持ちます。自律神経は、体温や血圧、内臓の調節を行って

います。

末梢神経がダメージを受けた状態が末梢神経疾患で、最も多いのは「糖尿病性ニューロパチー」、次に多いのは「手指麻痺症候群」です。ほかにも単神経障害、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー、ATTRVアミロイドシス、外傷性末梢神経障害などさまざまな疾患があり、これらの総患者数は1千万人に及んでいます。

末梢神経が全身性に障害されると、まず手足、足先からダメージが現れます。これは、末梢神経は細い神経線維の束になっており、脊髄から伸びていく途中で少しずつ神経線維が障害されていくと、先へ行くほど届く命令が弱くなるからです。糖尿病性ニューロパチーは糖尿病の合併症の一つで、主な症状は手先や足先の筋力の低下やしびれなどです。手根管症候群は、手掌や指にしびれや痛みが生じ、症状が進行すると母指の付け根の筋肉が低下します。ギラン・バレー症候群は若年層に起こりやすく、運動神経が炎症により障害されて、数日で手足に力が入らなくなります。

さまざまな分野のエキスパートが 協力して病態を解明

日本末梢神経学会では、病態の解明や治療法の開発のため、脳神経内科(脳や脊髄、神経や筋肉の病気を扱う内科)や整形外科、リハビリテーション科、基礎医学講座など学際的に末梢神経疾患の病態を解明し、より良い治療を開発することを目的としています。研究手法は幅広く、病理学、遺伝学、免疫学、代謝学、電気生理学、手術療法、薬物療法、理学療法、作業療法、装具、再生医療などを専門とするそれぞれの分野のエキスパートが参加し、それぞれが持ち味を発揮して末梢神経研究に取り組んでいます。また、最近では脊髄疾患の分野にも踏み込んでいます。

末梢神経疾患の病態については分からないことも多かったのですが、近年、解明されつつあります。



第35回日本末梢神経学会学術集会 会長 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 神経学講座 脳神経内科・老年病学 教授 高嶋 博氏

ゲノム解析の進歩により、例えばLRRP12というタンパク質遺伝子のリピートが、シャルコー・マリー・トゥース病(遺伝子変異による末梢神経疾患の総称)や感覚性の遺伝性ニューロパチーの原因となることが鹿児島大学の研究で明らかとなりました。その他、リピート伸長(遺伝子内の特定の繰り返し塩基配列が、変異によって正常範囲を超えて繰り返すこと)が原因の末梢神経障害も多数発見されています。さらに、新しい自己抗体による末梢神経障害も解明されました。

進む末梢神経疾患への理解と治療 今後の展望

糖尿病性ニューロパチーでは糖尿病の治療が最優先となりますが、糖尿病の治療自体もかなり進歩しています。慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーについては、慢性の神経炎症をコントロールする治療が広く行われています。以前は家族性アミロイドニューロパチーといわれ、根治が難しかったATTRVアミロイドシスも、遺伝子治療薬が開発されて良くなるようになっていきます。

また、ロボットスーツを使ったロボットリハビリが、シャルコー・マリー・トゥース病など一部の末梢神経疾患でも保険適用となつていきます。

日本末梢神経学会でも、末梢神経疾患が引き起こす痛み、筋力低下や感覚低下、疼痛、自律神経症状などに対して、治療法を開発改良し、より良い解決を図るための活動を行っています。

手足のしびれや痛み、筋力の低下などがあればそれは末梢神経疾患かもしれません。一度、脳神経内科や整形外科に相談してください。(談)

～ 脳神経内科の病院として適切な治療・リハビリを地域に提供 ～

医療法人三州会 大勝病院

理事長 大勝 秀樹 院長 有村 公良

診療科目 脳神経内科 リハビリテーション科 〒890-0067 鹿児島市真砂本町3番95号 TEL 099-253-1122 FAX 099-254-9643 URL https://ookatsu.jp

社会医療法人 義順顕彰会 種子島医療センター 院長 高尾 尊身 鹿児島県西之表市西之表7463 ☎0570(09)0960

公財団法人 しまきいれ総合病院 鹿児島市高麗町43番25号 ☎ 濱崎 秀一 公財団法人 しまきいれ病院 鹿児島市長田町5番24号 ☎ 丸山 秀一

ココロに寄り添うホームドクター 医療法人 紡倫会 まちのお医者さん 白石 匡史 鹿児島県鹿屋市寿5丁目26-38 ☎0994-40-7801

西田橋小田原病院 院長 小林 由佳 日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医 鹿児島市平之町1-27 ☎099(224)0823



気になる症状があれば、一度専門医にご相談ください。(順不同)

